

# 適性検査 問題用紙

## 注 意

- 1 合図があるまで、中を開かないでください。
- 2 受検番号は、問題用紙、解答用紙の決められたすべての場所に行きましよう。
- 3 解答は、すべて解答用紙の決められた場所に行きましよう。
- 4 問題用紙は2枚、解答用紙は1枚あります。

受検番号

【1枚目】

1 春男さんの学級では、いくつかの班に分かれて、学校内の生き物を毎週観察し、記録していきました。図1は学校内の様子を示したものです。

1 春男さんたちの班は、四季を通じて観察してきた結果を発表するために、記録カードからサクラとツバメを選び、表1のようにまとめました。

表1 サクラとツバメの季節ごとの移り変わり







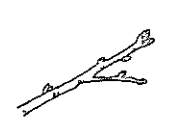

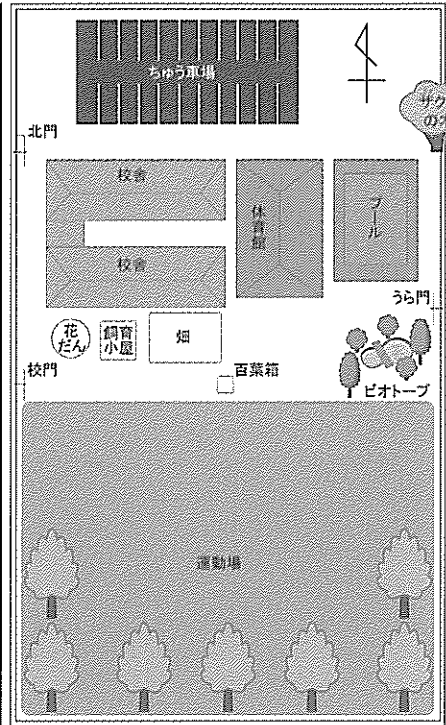
春（4月10日）		夏（7月10日）	
			
花がたくさんさいていた。まだ葉は出てきていない。	ツバメが巣をつくっていた。これからたまごをうむのかな。	枝がのびて、葉は緑色がこくなり、大きくなった。	1日に何回もひなにエサを選び、子育てをしていた。
午前10時の気温 12.0℃		午前10時の気温 25.8℃	
秋（10月13日）		冬（12月10日）	
			
葉が少しだけ色づき始めた。	ツバメの姿は見られなかった。どこに行ってしまったのだろう。	葉がかれ落ちてしまった。枝には芽ができていた。	ツバメの姿は見られなかった。調べたら、南のあたがかい国にいることが分かった。
午前10時の気温 19.2℃		午前10時の気温 6.6℃	

図1



(2) 春男さんたちの班では、百葉箱を使って気温を測りました。



百葉箱は、気温を測る条件を考えてつくられているよ。

そうだね。箱が高くなっているのは、地面から1.2m~1.5mのところの気温を測るという条件を考えてつくられているんだね。



図3

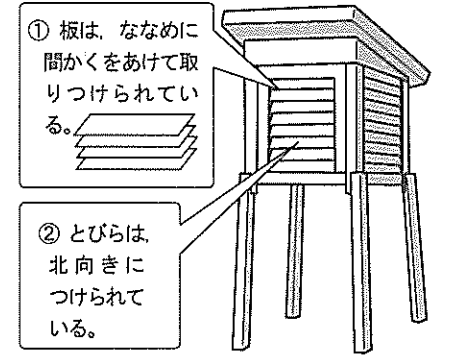


図3の①と②は、気温を測るときにどんな条件を考えてつくられていますか。それぞれ書きましょう。

(3) 冬美さんは、生き物の季節ごとの移り変わりについて、サクラとヘチマを比べて、表3にまとめています。冬美さんのまとめ方を参考にして、ツバメとオオカマキリを比べて、表4に似ているところと異なるところをそれぞれ1つずつ書きましょう。

表3 サクラとヘチマの比かく

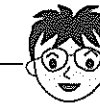
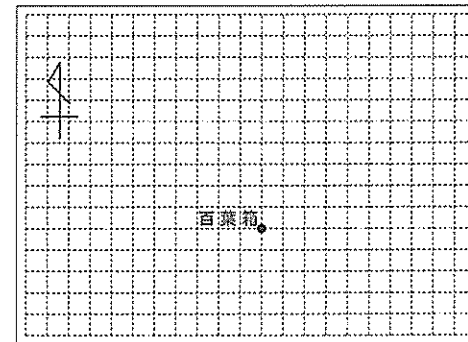
似ているところ	異なるところ
春から夏にかけて、枝やくきがのびて、葉の緑色がこくなる。	サクラは葉を落とし、てもかれずに冬をこす。ヘチマは全体ががれる。

表4 ツバメとオオカマキリの比かく

似ているところ	異なるところ

2 春男さんたちの班は、発表の時に使うコース図を、図4の方眼模造紙（たて15マス、横21マス）にかくことにしました。

図4



春男さんのノート

<歩いた記録>

	歩数	方位
校門 → 百葉箱	120歩	東
百葉箱 → ツバメの巣	30歩	北
ツバメの巣 → うら門	120歩	東
うら門 → サクラの木	90歩	北
サクラの木 → 北門	240歩	西
北門 → 校門	120歩	南

(1) 春男さんたちは、地いきによる春のおとずれのちがいを知るために、インターネットでサクラの開花日を調べ、表2にまとめ、その位置を図2に表しました。これらの資料を見ながら話し合っています。



サクラがさいたり、ツバメがやってきたりすると、春のおとずれを感じるね。

春男さん

そうだね。でも、春のおとずれは地いきにより異なるよ。わたしのおじいさんがいる長野市は、彦根市よりサクラがさくのはおそいね。



夏子さん



長野市は彦根市より北にあり、気温が低いからサクラがさくのがおそいかなあ。

冬美さん

そうだね。でも、緯度がほぼ同じで開花日が大きく異なる都市があるよ。



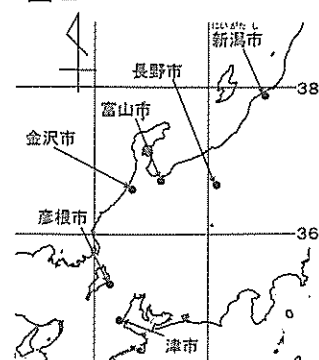
秋夫さん

表2

都市	サクラの開花日
新潟市	4月 9日
長野市	4月 13日
富山市	4月 5日
金沢市	4月 4日
彦根市	4月 2日
津市	3月 30日

(気象庁資料における1981年から2010年の平均値)

図2



秋夫さんの言葉にあてはまる都市を2つ選び、開花日が異なる理由を説明しましょう。

(1) 春男さんのノートをもとにして、コース図をかきましょう。かく時は、下の「コース図をかく時のやくそく」にしたがってかきます。また、その時、方眼模造紙の1マスを何歩とするのが適当ですか。書きましょう。

「コース図をかく時のやくそく」

- ・百葉箱の位置は図4に示したとおりとする。
- ・コース図が、できるだけ大きくかけるように、方眼模造紙の1マスの歩数を決める。
- ・歩いた道のりは、定規を使って直線でかく。
- ・校門、ツバメの巣、うら門、サクラの木、北門の位置は、方眼模造紙のたての線と横の線が重なったところに●をかいて、図4に示したように左上にその場所の名前を書く。



(2) 卒業を前に、ハナミズキのなえ木の植樹をしました。校門からハナミズキのなえ木を結ぶ直線と、ハナミズキのなえ木から百葉箱を結ぶ直線のできる角度は何度になりますか。春男さんのノートと夏子さんのノートをもとにして角度を求めましょう。また、その角度になる理由を説明しましょう。



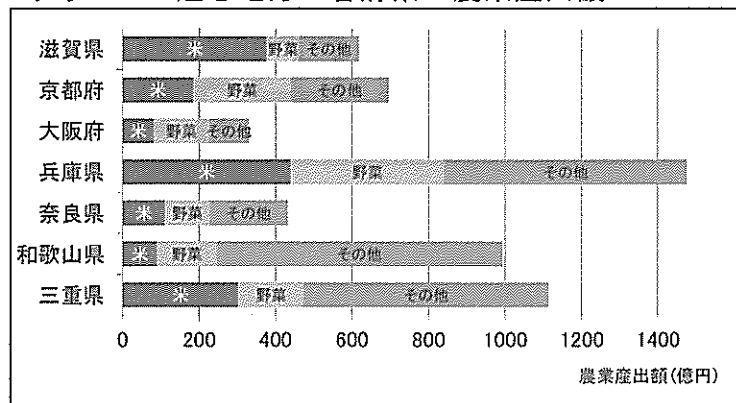
夏子さんのノート

- <まきじゃくで測った長さ>
- ・校門からハナミズキのなえ木までは、直線で南に35m。
  - ・ハナミズキのなえ木から百葉箱までは、直線で70m。

2 冬美さんの学級では、農業と水産業について、調べ学習をしています。

1 冬美さんと春男さんは、図書館で農業について調べ、次のグラフ1と資料を見つけました。さらにくわしく調べるために、米づくりにたずさわっている農家の人に話を聞きました。

グラフ1 近き地方の各府県の農業産出額



(農林水産省 平成25年生産農業所得統計による。)

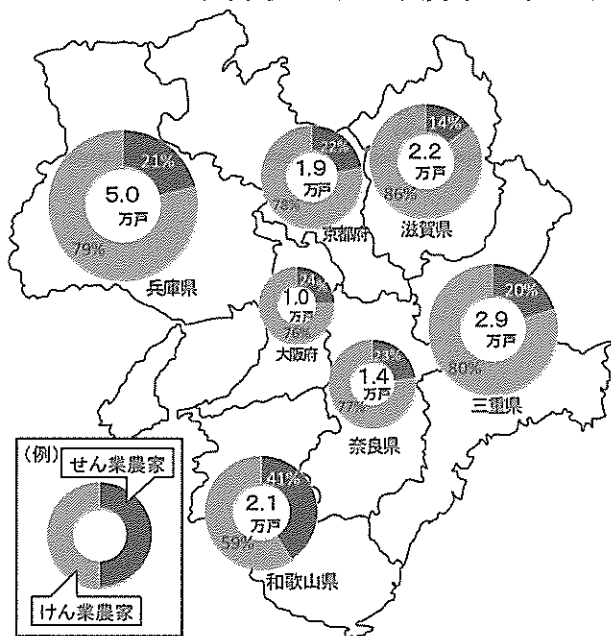
[注: 農業産出額は、それぞれの農産物の生産量に、その価格をかけて計算した金額のことをいう。]



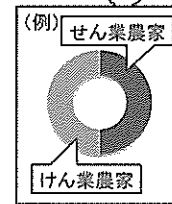
農家の人

滋賀県は、農家が共同で作業する生産組合などの数が近き地方で一番多く、共同で農業機械のこう入などを行っています。

資料 近き地方の各府県の農家の戸数とせん業農家とけん業農家のわり合



(農林水産省 平成25年農業構造動態調査報告書による。)



- 近き地方の他府県と比かした滋賀県の農業の特色を、グラフ1と資料から読み取り、それぞれ1つずつ書きましょう。
- 生産組合などで米づくりをすることは、個人で米づくりをすることと比べて、どのようなちがいがありますか。農家の人の話をもとにして書きましょう。

冬美さんは、米づくりについて調べる中で、滋賀県では「かん境こだわり米」というかん境に配りよした米づくりがさかんなことを知りました。そして、次の内容をノートにメモしました。冬美さんと春男さんは、メモ1とメモ2をもとに、話し合っています。

メモ1

日本における1人1日あたりの米の消費量は、1960年は315gだったが、2001年には174g、2014年には151gになった。

滋賀県における「かん境こだわり米」のさいばい面積は、2001年は384haだったが、2014年には12,736haになった。

メモ2

- かん境こだわり米のさいばい基準
- 農薬や化学肥料の使用量を通常の半分以下に減らす。
  - どろ水を流さないなど、びわ湖をはじめかん境にやさしい技術でさいばいする。
  - どのようにさいばいしたかを記録する。



冬美さん

日本の米の消費量は減っているのに、滋賀県の「かん境こだわり米」のさいばい面積は増えているね。



冬美さん

そうだね。なぜ、多くの人が「かん境こだわり米」を買うようになったのか、理由をアンケートで調べてみよう。どのような選たくしが考えられるかな。

例えば、「どのようにさいばいしたかが記録されているので、信らいできるから」はどうかな。



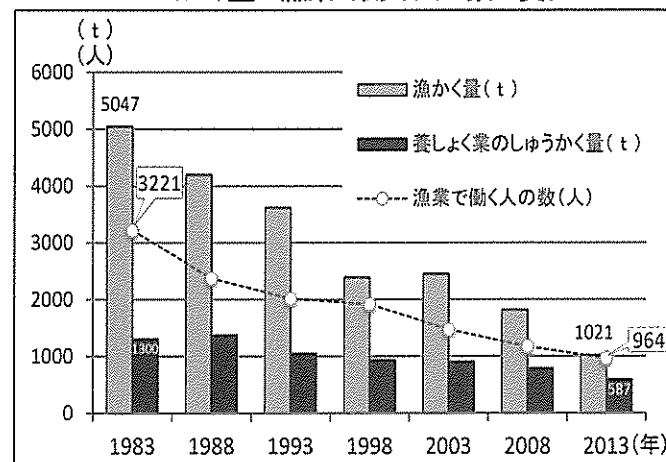
春男さん

(3) あなたなら、他にどのような選たくしを考えますか。会話文の~~~~部とメモ2を参考にして、「~ので、~から。」という文の形で、書きましょう。

2 秋夫さんは、滋賀県の水産業について調べるために、水産試験場に行き、水産試験場の人に話を聞きました。グラフ2は、水産試験場の資料をもとに作成しました。

(1) グラフ2は、滋賀県の漁かく量・養しよく業のしゅうかく量・漁業で働く人の数の変化を5年ごとに表したものです。グラフ2から読み取れることを、次のアからエの中からすべて選び、記号で書きましょう。

グラフ2 滋賀県の漁かく量・養しよく業のしゅうかく量・漁業で働く人の数の変化



(平成26年度滋賀の水産・滋賀県水産統計による。)

[注: 漁かく量に養しよく業のしゅうかく量はふくまれていない。]

ア 1983年と2013年を比べると、漁業で働く人の数は約3分の1、漁かく量は約5分の1に減っている。

イ 1983年から5年ごとで見ると、漁かく量が一番減っている期間では、漁業で働く人の数も一番減っている。

ウ 1983年と2013年を比べると、養しよく業のしゅうかく量は約30%減っている。

エ 1983年から5年ごとで見ると、漁業で働く人の数が減っているのに、漁かく量が増えている期間がある。

秋夫さんのノート

さいばい漁業	養しよく業
産らん期のビワマスからたまごをとってかえす。	産らん期のビワマスからたまごをとってかえす。
↓	↓
いけすでち魚を育てる。	いけすでち魚を育てる。
↓	↓
川にち魚を放流する。	いけすから水あげする。
↓	
湖で漁かくする。	



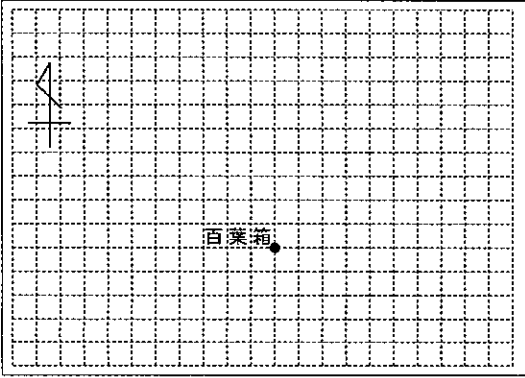
水産試験場の人

ビワマスのち魚の放流は、100年以上にわたって行われてきました。1990年からビワマスの養しよくの研究に取り組み、ようやく2012年に出荷に適した大きさのビワマスを育てることができるようになりました。多くの人々の努力により、以前よりも安定した出荷ができるようになりました。

# 適性検査 解答用紙

受検番号	
------	--

1

1	(1)	都市名  と	
	(2)	理由	
	(3)	①  似ているところ	②  異なるところ
2	(1)	コース図 	(2)
		1マスの歩数  歩	

2

1	(1)		
	(2)		
	(3)		
2	(1)		
	(2)		